

令和4年度第3回 姫路市官民データ活用推進会議

別紙

- 開会
- 会議成立報告および傍聴定数確認
- 議題「第2期姫路市官民データ活用推進計画（案）について」

※以下、「本計画」は「姫路市官民データ活用推進計画」を指すものとする。

事務局	議事説明（資料1(計画案の概要)、資料2(計画案)、資料3(パブリック・コメント募集概要)について)
委員	<p>議事に関する質問、意見</p> <p>本日欠席の委員よりいただいている意見について、代読させていただく。</p> <p>概要版3頁・計画（案）29頁以下の「第4章 基本的政策」のうち「（2）暮らしのデジタル化」について、ハッキング被害やネット上の人権侵害事案への対処を念頭に、市民や子どものデジタル活用推進と併せ、安心してデータの提供共有や SNS 等の利用ができるようセキュリティに関する啓発活動またはリテラシー教育の実施にも触れられるようであればご検討をお願いしたい。</p>
事務局	<p>ご指摘のとおり、情報リテラシーやインターネットリテラシーを持つことは、昨今の多様化・複雑化するデジタル社会において必要不可欠な要素であると考えている。暮らしのデジタル化において、データを安心して統合的に利活用できる仕組みづくりを行うにあたり、子どもたちだけでなく、市民の皆さまにも、安全安心なデータ利活用環境を整えていけるよう、取組を検討してまいりたい。</p>
委員	<p>もう1点、同委員のよりいただいている意見について、代読させていただく。</p> <p>概要版4頁・計画（案）39頁以下の「第5章 計画の推進体制」のうち「3 計画推進にかかる留意事項」の「（1）情報セキュリティ及び個人情報の適正な取り扱いの確保」または「（2）デジタル人材の育成・確保」について、個人情報保護法1条に記されている「個人情報の有用性に配慮しつつ、個人の権利利益を保護すること」を踏まえた育成・確保をも触れられるようであればご検討をお願いしたい。</p>
事務局	<p>本市におきましては、小中学校における「ネットトラブル対策講座」や公民館講座などを通して、情報セキュリティについて知識取得の促進を行っている。また、本市職員においては、毎年eラーニングにおいて、情報セキュリティ及び個人情報保護の</p>

委員	<p>適正な取り扱いに関する知識取得に努めている。引き続きこのような取り組みにより、個人情報保護法1条を踏まえた人材の育成・確保に努めていきたい。</p> <p>各基本的政策に掲げている具体的な取組について、伺いたい。</p> <p>「動画の画像解析による行動分析の展開」とは。「M a a Sの導入」とは。「市民アプリ」とは。「市発行カードのマイナンバーカードへの一体化（市民カード化）の推進」とは。「子育て支援データの充実」とは。「妊婦健診・乳幼児健診のデジタル化」とは。</p>
事務局	<p>「動画の画像解析による行動分析の展開」については、交通量調査等において、カメラ映像から、個人識別することなく属性認識を行ない分析するもの。</p> <p>「市民アプリ」、「市発行カードのマイナンバーカードへの一体化（市民カード化）の推進」については、自治体マイナポイントモデル事業に際して導入したアプリで、市の様々な活動に参加いただいた際に、マイナポイントを付与するためのもの。当該アプリは、マイナンバーカードの認証機能をつけることによって、市民活動の参加データを安全に管理するための仕組みを構築できることに加え、そのデータをもとに政策評価するような利活用を考えている。</p> <p>「子育て支援データの充実」、「妊婦健診・乳幼児健診のデジタル化」については、現在、健診会場で紙に記入している事前検診票について、事前にスマートフォンを使い入力でき、検診時においても即時データ化を行なうことで、家族と一緒に子どもの状態が共有できるようにするとともに、保健所業務の効率化にもつなげていくもの。</p> <p>「M a a Sの導入」については、全国で注目されているA I オンデマンドバスも含め、合理的な運用により暮らしやすい交通の実現を見据えるほか、姫路市交通計画において、検索・予約・決済可能な仕組みの導入を検討している。</p>
委員	<p>提示した取組については、市民生活に密着したデジタル化の恩恵が受けられるような意欲的な取組だと感じる。特に、健診のデジタル化・電子母子手帳の連携については、自治体の取組として意義のあることだと感じる。</p> <p>「動画の画像解析による行動分析の展開」については、誤解を与えないように動態調査や交通量調査のデジタル化等に表現の変更を検討した方がいいのではないか。また、防犯カメラなどの動画の目的外利用や保管などは、事業を進めるにあたって厳密におこなっていただきたい。</p>

委員	（前の質問を行った委員にお伺いするが、）M a a Sの導入については、プライバシーの侵害に影響することはないのか。
委員	位置情報や移動履歴等の情報を一括して解析をかけるという形は、プライバシー侵害性が高いが、市民利便性向上の一環のために、市民同意に基づいて行えば、さほど影響はないと考える。
委員	<p>目指すべき姿のイメージ図において、図内のアイコンで表現されている「ビデオ通話」、「A I」、「ドローン」、「シェア」のこの4点を選んだ理由を伺いたい。</p> <p>「都心部」「山間部」「島しょ部」に表現されている人のアイコンの人数について、差がある理由を伺いたい。</p>
事務局	<p>都市と山間部をつなぐ「ビデオ通話」や人や物の移動の「ドローン」など、デジタルやデータでつなぐもので、皆さんが比較的わかりやすい代表的なものを検討して選んだ。</p> <p>人のアイコンについては、山間部であれば一人暮らしの高齢者が多い場合や都心部は家族連れが多い場合など、現在のイメージとは逆の表現をしている。</p>
委員	デジタルやデータでつなぐものについては、5つの基本的政策と対比させたり、基本的政策等の本文で表現されたりしている内容について、記載してはどうか。
事務局	デジタルやデータでつなぐものに関して、表現を検討する。
委員	<p>先ほど委員の意見でもあったとおり、人のアイコンに関して、数のメッセージ性もあるため、差をつけない方がいいと感じる。</p> <p>計画の構成の全体像のピラミッドにおける、SDGsのアイコンについても、もう少し溶け込ませてほしい。</p> <p>SDGsの視点を、文章内においてもどこかで表現しておくべきだと考える。</p> <p>基本的施策1の行政サービスのデジタル化における、「全ての行政手続き」という表現について、「全て」が何を指すのか。</p> <p>人口減少・少子高齢化の表現の重複が気になったため、表現を工夫してほしい。</p> <p>各基本的政策における取組は、次年度以降に実施される事業が記載されているという認識でいいか。</p>
事務局	人のアイコンも含め、イメージ図等の表現について検討したい。

	<p>SDGs の視点については、基本理念の文書内において、「持続可能な社会」という表現を記載しているが、その他の内容についても検討したい。</p> <p>「全ての行政手続き」については、本市において原則全ての行政手続を令和7年度までにオンライン化することを目指すこととしている。表現については、検討したい。</p> <p>人口減少・少子高齢化の表現については、文書を精査して検討したい。</p> <p>基本的政策における取組については、本計画の計画期間が3か年であるため、現在取組んでいる事業の拡充・充実、今後取組む予定・構想している事業について、庁内に調査等を行ない記載している。</p>
委員	<p>健常の子どもにおける電子母子手帳とともに、支援の必要な子どもに対する発達過程のデータ化についても取組や機能としてお願いしたい。</p> <p>また、現在障がい者手帳アプリを使用しているが、それを使うことで、気づかなかった市のサービスにつながることもある。そのような取組をもっと享受できるようにして行ってほしい。</p> <p>教育現場の ICT 機器について、常に最新の教材で子どもたちが学べる環境づくりが盛り込めるとありがたい。</p>
事務局	<p>子どもの分野については、妊娠期から子育て期にかかるまで、子どもの情報手帳として家族で共有できるような仕組みを検討している。市民の方の意見をいただきながら、充実させていくことで、姫路が最先端なまちだと思っていただけるようにしていきたいと考えている。</p> <p>教育の ICT 環境整備についても、時代に合わせたものに更新していくべきだとは考えるが、総務省や市の更新基準も勘案しながら検討していきたい。</p>
委員	<p>子どもの分野については、市として力を入れるべき項目であると考えため、計画期間の3年でできることがあれば、積極的に取り入れていくべきであると考え。</p>
委員	<p>母子健康手帳については、紙のまま残しておいてもらうことも検討してほしい。</p> <p>教育の分野について、市外からの転入者に対しても学校の情報が入手できるような取組をお願いしたい。</p> <p>デジタル人材の育成・確保について、ITの専門知識を有した人材を姫路市としてどう育てていくのかということについても、具体的に検討してもらいたい。</p>
事務局	<p>紙の母子健康手帳については、現行法上交付することが定められているため、利用者</p>

	<p>の状況に応じて、紙とデジタルを併用していただくことを想定している。</p> <p>教育の分野について、各学校のホームページや総合教育センターの教育メッセージという形で、情報発信を行っていますが、広くわかりやすい空間で情報発信していけるよう、教育委員会とも連携して検討していきたい。</p> <p>デジタル人材の育成・確保について、学生も含めて本市のデジタル施策に関与してもらえよう、産官学が連携して取り組んでいきたい。</p>
委員	<p>3年前に GIGA スクール構想に先駆けて教育現場に導入された貸与型のタブレットですが、今後個人負担になっていった場合に、機能等の差がでないように、教育委員会とも連携して取り組んでいただきたい。</p>
事務局	<p>現市長においては、デジタルの取組について重点的に掲げている分野でもあるため、教育現場における ICT 環境という基盤整備の部分についても、財源のバランスを念頭に、優先順位が高いものとして取り組んでいきたい。</p>
委員	<p>産業のデジタル化における KPI について、政策における取組を「AR等を活用した観光事業の展開」や「観光オンラインツアーの推進」など掲げているのであれば、それらを指標にしてはどうか。また、観光消費額などの指標もあるので、観光部局と相談し検討していただきたい。</p> <p>シェアリングエコノミーについて、行政においても活用を促進していくということだが、今後どう進めていきたいか伺いたい。</p>
事務局	<p>産業のデジタル化における KPI については、中小企業のデジタル化については、姫路商工会議所との取組が中心だったことから、市が主体的に取り組む事業の目標を設定するにあたり、姫路市観光戦略プランにおいて、滞在型観光に向けたあらゆる取組において、デジタル技術の積極的な活用を図っていくものとして、令和8年度の目標値にしている「延べ宿泊者数」を設定した。観光部局と相談し検討したい。</p> <p>行政におけるシェアリングエコノミーについても、先進自治体の例をもとに研究していきたい。また、中小企業の方などに、シェアリングエコノミーの取組事例などを紹介していただける機会を作っていく、そこから、中小企業のデジタル活用やスタートアップにつなげていければと考える。</p>
委員	<p>アジャイル型政策形成・評価についての、具体的な推進方策は考えているか。例えば、KPIについてもアジャイル型で毎年検討するものなのか、3年間の計画で4つ</p>

	<p>のサイクルを回すのか、など、どのように考えているのか。</p> <p>また、KPI の目標値については、3年後の数値か。</p>
事務局	<p>従来の政策形成・評価は、1年をかけてサイクルを回すようなイメージだが、アジャイル型政策形成・評価については、1年間のうちに実証的な事業を行ないつつ、小さなゴールを積み重ねていくようなイメージである。掲載しているイメージ図は、あくまでも概念図であり、3年間の計画で4つのサイクルを回すという具体的な意味ではない。KPI の目標値については、3年後の数値である。</p>
委員	<p>企業に勤務していない個人の方や市民の方が、例えば育児休暇中の方が、好きな時間好きな場所で仕事ができるような仕組みもシェアリングエコノミーの一つであるため、そのような取組が地域や産業の活性化につながっていくように考える。そのため、シェアリングエコノミーの取組施策に記載している「企業や行政の資産の利用促進の検討等」についても、個人を含めて検討いただきたい。</p>
事務局	<p>委員の意見を踏まえ、「個人だけでなく、企業や行政においても」という表現については、内容を検討したい。</p>
委員	<p>I C T支援員の活用についても、検討いただきたい。</p>
事務局	<p>計画内での表現等については、教育委員会と調整し、検討したい。</p>
委員	<p>その他、パブリック・コメントについても意見はないか。</p>
各委員	<p>意見なし。</p>
委員	<p>「資料1」「資料2」については、事務局により本日の審議内容を反映し、パブリック・コメントを行うための計画案とするが、この計画案の確認については、会長一任とするがよいか。</p>
各委員	<p>意義なし。</p>

事務局	事務連絡
事務局	次回第4回の日時は、令和5年2月13日（月）14:30からとする。

審議事項および議事要旨のホームページへの公開並びに議事要旨の事前確認について確認

14時28分 終了